

シューマン

序奏とアレグロ・アパッショナート op.92

ガルデッラ

マードレ(母)

ーピアノとオーケストラのための(2023,日本初演)

ブラームス

ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83

The Last!

ピアノ協奏曲
第2番

指揮
ピアノ
北村 朋幹

ピアニスト 北村 朋幹の 弾き振り

注目作品
ガルデッラのマードレ(母)
日本初披露

Orchestra Ensemble Kanazawa
Special Subscription Concert Vol.4
Friday 20 February 2026, 7pm
Saturday 21 February 2026, 2pm
ISHIKAWA ONGAKUDO Hogaku Hall
Tomoki Kitamura, Conductor & Piano

R.Schumann : Introduction and Allegro appassionato, op.92
F.Gardella : Madre for Piano and Orchestra (2023)
J.Brahms : Piano Concerto No.2 in B flat major, op.83

©TAKA MAYUMI



2026

2.20 (金)

19:00開演
(18:15開場)

/ 21 (土)

14:00開演
(13:15開場)

石川県立音楽堂邦楽ホール

▼ TICKET 全席指定 (消費税込)

S席 5,000円 / A席 4,000円 / 桟敷席* 2,500円

*桟敷席は靴を脱いでお座りいただきます。お席によっては他のお客様が視界に入り、見えにくい場合がございます。

すたあらいと席 1,000円 / 車椅子席 5,000円

お得な割引
OEK定期会員割引(S・A席のみ) ▶ S席 4,500円 / A席 3,600円
シニア割(65歳以上 S・A席のみ) ▶ S席 4,750円 / A席 3,800円
U25割(25歳以下 前日より電話予約可) ▶ 全席当日券 半額

*シニア、U25は要年齢証明書

▼ PLAYGUIDE プレイガイド

石川県立音楽堂チケットボックス TEL 076-232-8632

(窓口9:00-19:00/電話10:00-18:00) ※休館日:11/17、12/15、12/29～1/3、1/19

WEBからの購入もできます。https://www.ongakudo.jp/

●チケットぴあ(Pコード:300-843) ●セブンチケット(7コード:111-513)
●ローソンチケット(Lコード:57974) ●イープラス eplus.jp ●teket(テクト)→



託児ルーム(有料)あります。TEL 076-232-8111 2/10(火)17:00までにお電話にてお申込みください。

※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。ご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

北村朋幹が全曲弾き振りで挑む。 ピアノとオーケストラの対話

今もっとも注目すべきピアニスト、北村朋幹が弾き振りに挑む。飽くなき探求心によって作品を深く掘り下げる北村にとって、弾き振りは自らが求める音楽を実現するために避けて通れない道なのだろう。得意のシューマンから始まり、現代イタリアの作曲家フェデリコ・ガルデッラが北村のために書いた協奏曲、そしてブラームスの大作、ピアノ協奏曲第2番が演奏される。3曲すべてが弾き振りだ。

文：飯尾洋一（音楽ジャーナリスト）



©TAKA MAYUMI

指揮・ピアノ：北村 朋幹 *Tomoki Kitamura, Conductor / Piano*

愛知県生まれ。浜松国際コンクール第3位、シドニー国際コンクール第5位ならびに3つの特別賞、リーズ国際コンクール第5位、ボン・テレコム・ベートーヴェン国際コンクール第2位入賞。第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞（全部門共通）受賞以来、独自のプログラミング・センスで展開するソロリサイタルをはじめ、オーケストラとの共演、室内楽、古楽器による演奏活動を日本とヨーロッパ各地で定期的に行っている。近現代作品の演奏への評価も高く、2024年にはアーヴィン・アルディッティからの指名を受け、アルディッティ弦楽四重奏団とともに、2曲のピアノ五重奏曲の世界初演に携わる。録音は、6タイトルのソロアルバムをフォンテックよりリリースし、2021年録音の「ケージ プリバード・ピアノのためのソナタとインターリュード」は令和3年度（第76回）文化庁芸術祭賞 レコード部門 優秀賞を受賞。また2023年録音の「リスト 巡礼の年 全3年」ほかの成果が『美的にも知的にも余人を圧倒する音楽家の出現』と評価され、令和6年度（第75回）芸術選奨 音楽部門 文部科学大臣新人賞を受賞。東京藝術大学に入学後、2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。またフランクフルト音楽・舞台芸術大学では歴史的奏法の研究に取り組んだ。ベルリン在住。



オーケストラ・アンサンブル金沢 *Orchestra Ensemble Kanazawa*

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティストリック・リーダーを務める。

